

朝の礼拝

聖書 マタイによる福音書 6章26-30節a (新約聖書10頁)

空の鳥をよく見なさい。種も蒔かず、刈り入れもせず、倉に納めもしない。だが、あなたがたの天の父は鳥を養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも価値あるものではないか。あなたがたのうちだれが、思い悩んだからといって、寿命をわずかでも延ばすことができようか。なぜ、衣服のことで思い悩むのか。野の花がどのように育つのか、注意して見なさい。働きもせず、紡ぎもしない。しかし、言うておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。今日は生えていて、明日は炉に投げ込まれる野の草でさえ、神はこのように装ってくださる。

一日一日を大切に

皆さんは“翼をください”という歌をご存じでしょうか。音楽の教科書によくあり、合唱の課題曲にもなっていました。老若男女多くの人に歌われている歌です。“悲しみのない自由な世界へ 翼はためかせ行きたい”というサビは好きなところです。

それと、シンガーソングライターのあいみよんの“マリーゴールド”をご存じですか。私は土いじり、草花や野菜を育てるのが好きで、野菜を守ってくれるマリーゴールドは大好きです。それで、あいみよんの“マリーゴールド”が好きになりました。

イエスは麦を収穫する農夫、ぶどう畑で働く人たち、羊を飼う羊飼いたちのことをいつも心に留めていました。大地の上で汗を拭う彼らがふと空を見上げ自由に飛ぶ鳥を見る時を、足下に咲く野の花に気づく時を、イエスは思っていました。

何も働かないのに自由に空を飛ぶ鳥、人知れずそっと咲く野の花を通して、神様は疲れた彼らの心をいやしていると、イエスは信じていたのではないのでしょうか。私たちも讃美歌、聖書に励まされ、一日一日を大切に過ごしましょう。

(しばらく黙祷しましょう)

いつも英和女学院を見守ってくださる神様、いよいよ前期も今日と明日だけになりました。ウクライナや世界の戦地、そして感染症の拡大という不安の中であって、あなたの見守りと導きによって過ごしてきました。どうかこれまでの学校生活をふり返り、夏休みの間も、あなたに励まされて一日一日を大切に過ごさせてください。今日一日もすべてをあなたに委ね、喜びと感謝のうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン